資料3

事故ゼロプラン及び
事故危険箇所について

令和8年8月

国土交通省

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

目次

1．幹線道路における交通安全対策の概要
2．第３期事故ゼロプランの取り組み
　2-1．第３期事故ゼロプランの概要
　2-2．第３期事故ゼロプランの総括
　2-3．事故ゼロプランの見直し方針
　2-4．事故ゼロプランの今後のスケジュール

1．幹線道路における交通安全対策の概要

- **事故ゼロプラン**（事故危険区間重点解消作戦）では、**岩手県独自の指標で事故危険区間を選定**し、地方公共団体等の指摘や学識経験者・関係者からなる委員会（本会議）から意見を聴取した上で選定している。
- **事故危険箇所**は、**全国統一の抽出基準で指定**される箇所であり、第6次社会資本整備重点計画では、令和12年に「幹線道路の事故危険箇所における死傷事故抑止率約3割（令和６年比）」という目標を掲げている。

	事故ゼロプラン （事故危険区間重点解消作戦）	事故危険箇所
抽出基準	岩手県独自	全国共通
対象とする道路	国管理道路	国・県管理道路
具体的な目標	－	概ね5年間での事故抑止率約3割
主な特徴	「市民参加・市民との協働」をキーワードとしており、地方公共団体等の指摘や学識経験者・関係者からなる委員会（本会議）から意見を聴取した上で選定している。	全国統一の抽出基準で指定される箇所。事故率や地域要望・損保協会の事故多発地点※1に選定された箇所などを元に選定している。

※一般社団法人　日本損害保険協会が交通事故交通事故の防止・軽減を目的として、都道府県ごとに人身事故件数ワースト5交差点の特徴や件数の多い事故類型の主な要因・予防策等をHP上で公表しているもの。
URL：https://www.sonpo.or.jp/about/useful/kousaten/2024/index.html

2-1. 第3期事故ゼロプランの概要

- 事故ゼロプランとは、交通安全分野における成果を上げるマネジメントの取組みで、**岩手県内独自の指標をもとに事故危険区間を抽出**し、安全対策を実施している。
- 対策後はその効果を評価し、PDCAのマネジメントサイクルにより、逐次改善を図る。

■ 事故ゼロプラン更新の経緯

【事故危険区間の選定のポイント】

1. 事故の危険性が高い区間を選定
   事故データや地域の声等に基づき選定

⇒ 岩手県で162区間を選定（H22年度）
（学識者、関係者等からなる委員会から意見を聴取）

2. 事故ゼロプランの見直し
   最新の事故データ等で定期的に見直しを実施

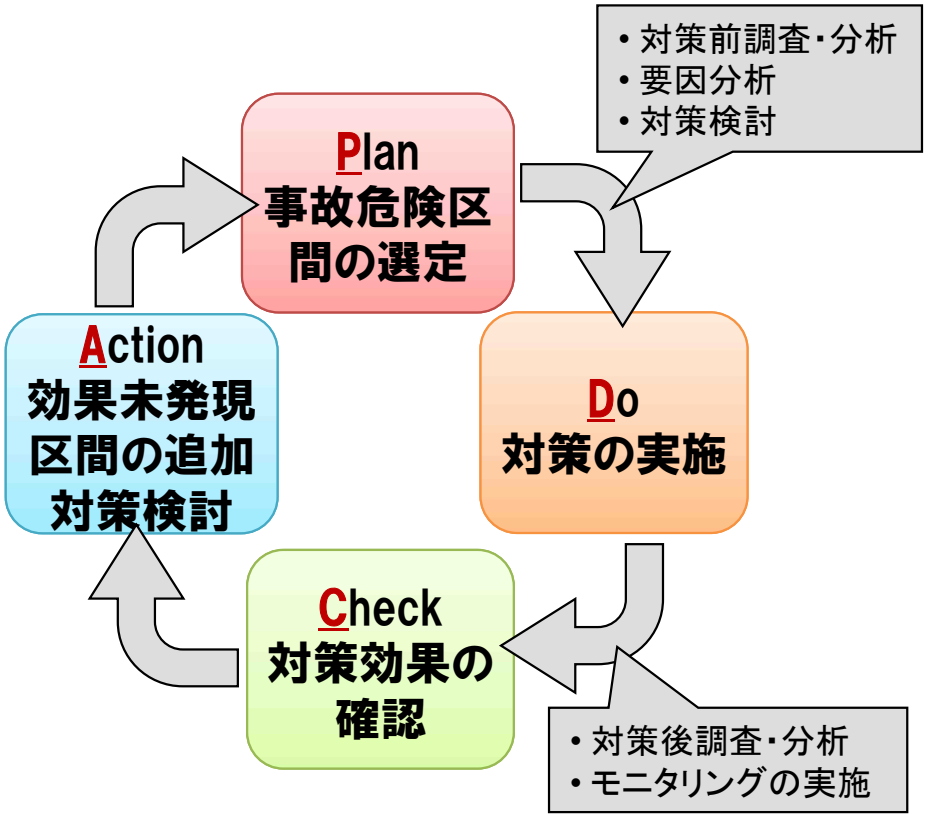
⇒ 143区間を見直し選定（H28年度）

⇒ 66区間を見直し選定（R5年度）

【情報の共有化】
パンフレットやHPで利用者に危険箇所を認識してもらうことで事故削減にも期待

■ PDCAのマネジメントサイクル

H22年度より開始し、H28年度に更新、
令和5年度より**3巡目**



2-1. 第3期事故ゼロプランの概要

- 第3期事故ゼロプラン「事故危険区間」では、**66区間**を選定
- 岩手河川国道事務所管内（国道4号、46号）：**48区間**
- 三陸国道事務所管内（国道45号）：**11区間**
- 南三陸沿岸国道事務所管内（国道45号）：**7区間**

■ 事故危険区間の選定結果

（１）事故データ※から見た危険区間
～事故発生状況からの抽出～

【選定基準】
① 死傷事故の発生率が高い区間
　死傷事故率　　：100件/億台km以上　かつ
　死傷事故件数　：8件/4年以上
② 重大事故（死亡・重傷事故）の発生率が高い区間
　死傷事故率　　：100件/億台km以上　かつ
　重大事故率　　：10件/億台km以上　かつ
　死亡事故率　　：1件/億台km以上

①：岩手県独自の選定基準
②：事故危険箇所に準ずる選定基準

（２）潜在的な危険区間
～事故発生可能性からの抽出～

③ 地元・道路利用者からの交通事故の危険性の指摘区間
○ 自治体・交安協・警察・その他団体
○ 道路利用者に対するアンケート・ヒアリング調査
・自動車の走行環境に関する指摘
（「カーブ・勾配がきつくて危険」等）
・歩行者・自転車の通行環境に関する指摘
（「歩道が無い・歩道の幅が狭くて危険」等）

③：岩手県独自の選定基準

事故危険区間【66区間】

岩手：48区間、三陸：11区間、南三陸：7区間

※H30～R3事故データ（交通事故統合データ）を使用

2-2. 第3期事故ゼロプランの総括

国土交通省
事故ゼロプラン

- 事故危険区間66区間のうち、**36区間が対策済み、19区間が事業中**であり、**事業化率は約8割**。
- 今後も、対策検討中箇所を含めて安全対策の事業化を引き続き推進していく。

赤ハッチ：対策済み
緑ハッチ：事業中

No.	路線名	対象区間【交差点名】 ※は事故危険箇所	①事故データから見た事故危険区間		②潜在的な危険区間	対策の状況	■：新規事業化年度　●：対策完了年度 ○：対策完了予定年度　★：効果検証年度									
			死傷事故率	重大事故率			H30以前	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9以降
1	国道4号	一関修紅短大入口～高梨交差点			●	事業中（交安Ⅰ種：萩荘地区付加車線整備）							■			
2		一関市萩荘高梨南方～山目立沢			●	対策済（交安Ⅰ種：一関地区事故対策）							●			★
3		※　一関市山目　【十二神交差点】		●		対策済（交安Ⅱ種）							●			★
4		※　一関市山目　【大槻交差点】		●		対策済（交安Ⅱ種）								●		★
5		一関市山目大槻～中里沢田			●	未対策										
6		西磐井郡平泉町平泉			●	未対策										
7		大槻交差点～平泉BP南口交差点			●	未対策										
8		奥州市前沢区古城　【折居交差点】			●	対策済（交安Ⅰ種：折居交差点改良）		●						★		
9		奥州市水沢区東中通り（水沢東BP）　【神明町交差点】			●	事業中（改築：水沢東バイパス）	■									
10		奥州市水沢区東大通り			●	事業中（改築：水沢東バイパス）	■									
11		奥州市水沢区佐倉河			●	事業中（改築：水沢東バイパス）	■									
12		※　奥州市水沢佐倉河　【道下交差点】			●	対策済（交安Ⅱ種） 事業中（改築：水沢東バイパス）								●		★
13		奥州市水沢佐倉河～胆沢郡金ヶ崎町西根			●	事業中（改築：水沢金ヶ崎道路）							■			
14		胆沢郡金ヶ崎町西根本宮後～西根南羽沢			●	事業中（改築：金ヶ崎拡幅）	■									
15		胆沢郡金ヶ崎町三ヶ尻　【三ヶ尻交差点】			●	事業中（改築：金ヶ崎拡幅）	■									
16		北上市鬼柳町都鳥　【都鳥交差点】			●	事業中（交安Ⅱ種） 事業中（交安Ⅰ種：鬼柳地区立体横断施設）								■		
17		北上市北鬼柳29地割　【北上警察署口交差点】			●	対策済（交安Ⅰ種：北上警察署口交差点改良）					■		●			★
18		※　北上市常磐台4丁目　【北上ﾊﾞｲﾊﾟｽ北口交差点】		●		対策済（交安Ⅱ種）								●		★
19		北上市村崎野　【高屋沢交差点】			●	対策済（改築：北上拡幅）	■							●		
20		北上市飯豊町　【大下交差点】			●	対策済（改築：北上拡幅）	■							●		
21		※　北上市村崎野　【北上工業団地口交差点】		●		対策済（交安Ⅱ種）								●		★
22		北上工業団地入口交差点～花巻東BP南口交差点		●		事業中（改築：北上花巻道路）			■							
23		紫波郡紫波町北日詰　【日詰駅入口交差点】			●	対策済（交安Ⅰ種：北日詰交差点改良）	■				●					★
24		紫波郡紫波町桜町　【紫波I.C入口交差点】			●	対策済（交安Ⅰ種：紫波地区交差点改良）										
25		紫波郡紫波町　【城山交差点】			●	対策済（交安Ⅰ種：紫波地区（城山入口）交差点改良）	■				●					★
26		紫波郡紫波町高水寺中田　【高水寺北交差点】			●	事業中（交安Ⅰ種：高水寺北交差点改良）							■			
27		紫波郡矢巾町西徳田　【矢幅駅入口交差点】			●	対策検討中										
28		盛岡市東見前　【都南中央橋口交差点】	●			事業中（改築：盛岡南道路）			■							
29		盛岡市西見前　【見前南中学校入口交差点】			●	事業中（改築：盛岡南道路）			■							
30		盛岡市津志田　【盛岡南I.C入口交差点】			●	事業中（改築：盛岡南道路）			■							
31		盛岡市津志田　【四高入口交差点】			●	対策済（交安Ⅰ種：川久保交差点改良）						■			●	
32		※　盛岡市津志田町1丁目		●		対策済（交安Ⅰ種：川久保交差点改良）						■			●	
33		盛岡市津志田町1丁目　【(市)南仙北二丁目線交差点】			●	対策済（交安Ⅰ種：川久保交差点改良）						■			●	
34		※　盛岡市神子田町　【南大橋交差点】	●			対策済（交安Ⅱ種） 事業中（交安Ⅰ種：南大橋交差点改良）								● ■		★
35		※　盛岡市茶畑1丁目　【茶畑交差点】	●			対策済（交安Ⅱ種）								●		★
36		盛岡市上田4丁目　【高松交差点】	●			対策検討中										
37		盛岡市上堂4丁目　【上堂交差点】			●	対策済（交安Ⅱ種）			●							★
38		滝沢市砂込			●	対策検討中										
39		二戸郡一戸町中山			●	事業中（交安Ⅰ種：中山地区付加車線整備）	■									
40		二戸郡一戸町岩舘			●	事業中（交安Ⅰ種：岩舘地区歩道整備）	■									
41		二戸市金田一雨滴～釜沢山道			●	対策済（交安Ⅰ種：青岩地区歩道整備）	■			●						★
42	国道46号	盛岡市向中野5丁目（盛岡西ＢＰ）【向中野5丁目交差点】			●	対策検討中										
43		※　盛岡市本宮（盛岡西ＢＰ）　【本宮交差点】		●		対策済（交安Ⅱ種）							●			★
44		盛岡市中太田八卦（盛岡西BP）　【八卦交差点】			●	対策済（改築：盛岡西バイパス）	■							●		★
45		盛岡市上厨川前潟　【西ﾊﾞｲﾊﾟｽ北口交差点】			●	対策済（改築：盛岡西バイパス）	■							●		★
46		盛岡市繋字尾入野　【市道、町道との交差点】			●	対策済（交安Ⅱ種）	●									★
47		岩手郡雫石町塩ヶ森			●	対策済（交安Ⅱ種）			●							★
48		岩手郡雫石町橋場			●	対策済（交安Ⅱ種）	●									★
49	国道45号	大船渡市大船渡町字下船渡		●		対策済（交安Ⅱ種）			●							★
50		大船渡市盛町字御山下		●		対策済（交安Ⅱ種）			●							★
51		大船渡市盛町字木町		●		対策済（交安Ⅱ種）			●							★
52		大船渡市盛町字木町～字権現堂	●			事業中（交安Ⅰ種：権現堂交差点改良）				■						
53		※　大船渡市盛町字権現堂　【権現堂交差点】			●	事業中（交安Ⅰ種：権現堂交差点改良）				■						
54		※　大船渡市立根町字堰口～字堀之内	●			対策済（交安Ⅱ種）								●		★
55		釜石市松原町三丁目		●		事業中（交安Ⅱ種）									●	
56		下閉伊郡山田町大沢			●	対策済（交安Ⅰ種：大沢地区歩道整備）	■	●						★		
57		宮古市高浜2丁目			●	事業中（高浜歩道・自転車走行空間整備）								■		
58		下閉伊郡普代村第16地割			●	事業中（交安Ⅰ種：力持交差点改良）								■		
59		九戸郡野田村野田第18地割		●		未対策										
60		九戸郡野田村野田第27地割		●		未対策										
61		久慈市宇部町第8地割			●	未対策										
62		久慈市新井田第3地割～夏井町鳥谷第7地割（久慈道路）			●	対策済（交安Ⅱ種）		●						★		
63		久慈市夏井町字鳥谷			●	対策済（交安Ⅰ種：夏井地区歩道整備）	■		●							★
64		九戸郡洋野町有家第4地割～小子内第4地割			●	対策済（改築：種市地区登坂車線整備）	■		●							★
65		九戸郡洋野町種市第7地割			●	対策済（交安Ⅰ種：宿戸地区歩道整備）				■			●			★
66		※　九戸郡洋野町種市第18地割～第28地割		●		対策済（交安Ⅰ種：種市地区歩道整備）				■			●			★

2-2. 第3期事故ゼロプランの総括

国土交通省
事故ゼロプラン

- 事故ゼロプランでは、交差点改良等の**抜本的対策**の他、路面標示等による**簡易的対策**を実施。

■ 抜本的対策の例

①国道4号折居交差点（交差点改良）

対策前



対策後



②国道45号　下閉伊郡山田町大沢（歩道整備）

対策前



対策後



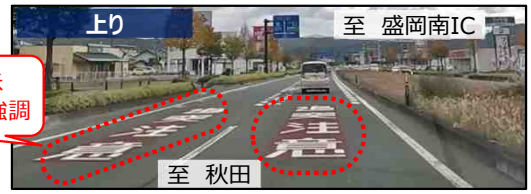
■ 簡易的対策の例

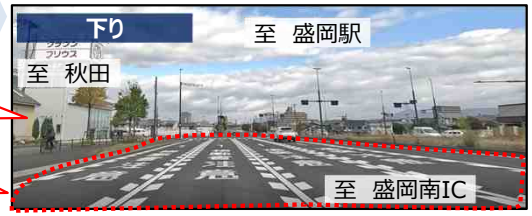
①国道46号本宮交差点（路面標示）

対策前



対策後





対策1：路面標示（横断者注意・追突注意）の増設

対策２：減速路面標示ドットラインの延伸

②国道45号大船渡市立根町（ラバーポールによる対策）

対策後

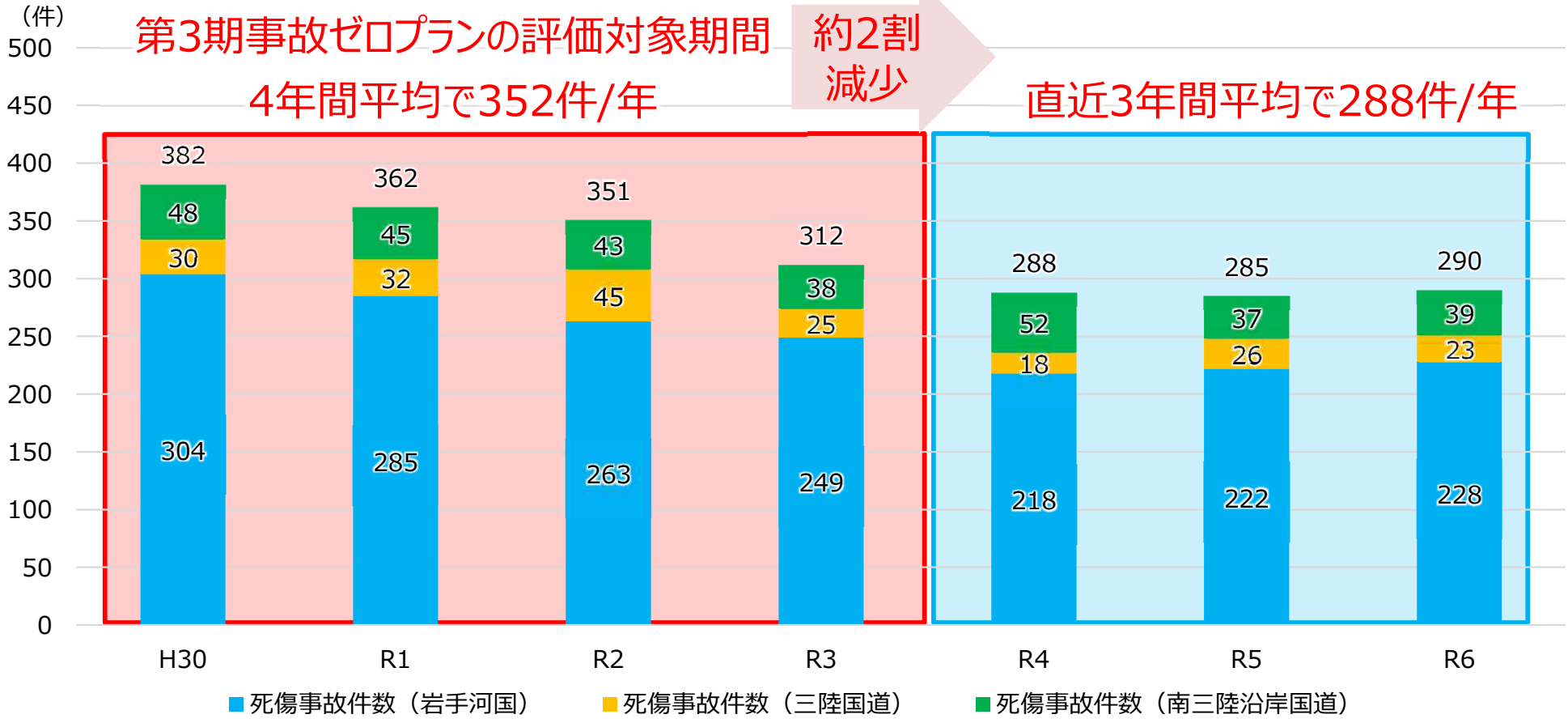




2-2. 第3期事故ゼロプランの総括

- 岩手県内の直轄国道では、第3期事故ゼロプランにおける評価対象期間の**平成30年～令和3年にかけては、平均で年352件の死傷事故が発生**していた。
- その後、対策の進捗等により事故件数が減少し、**直近3年間では平均で年288件の死傷事故が発生しており、県内の直轄国道全体としても事故件数は減少傾向**にある。

■ 岩手県内の直轄国道区間全体における事故件数の推移

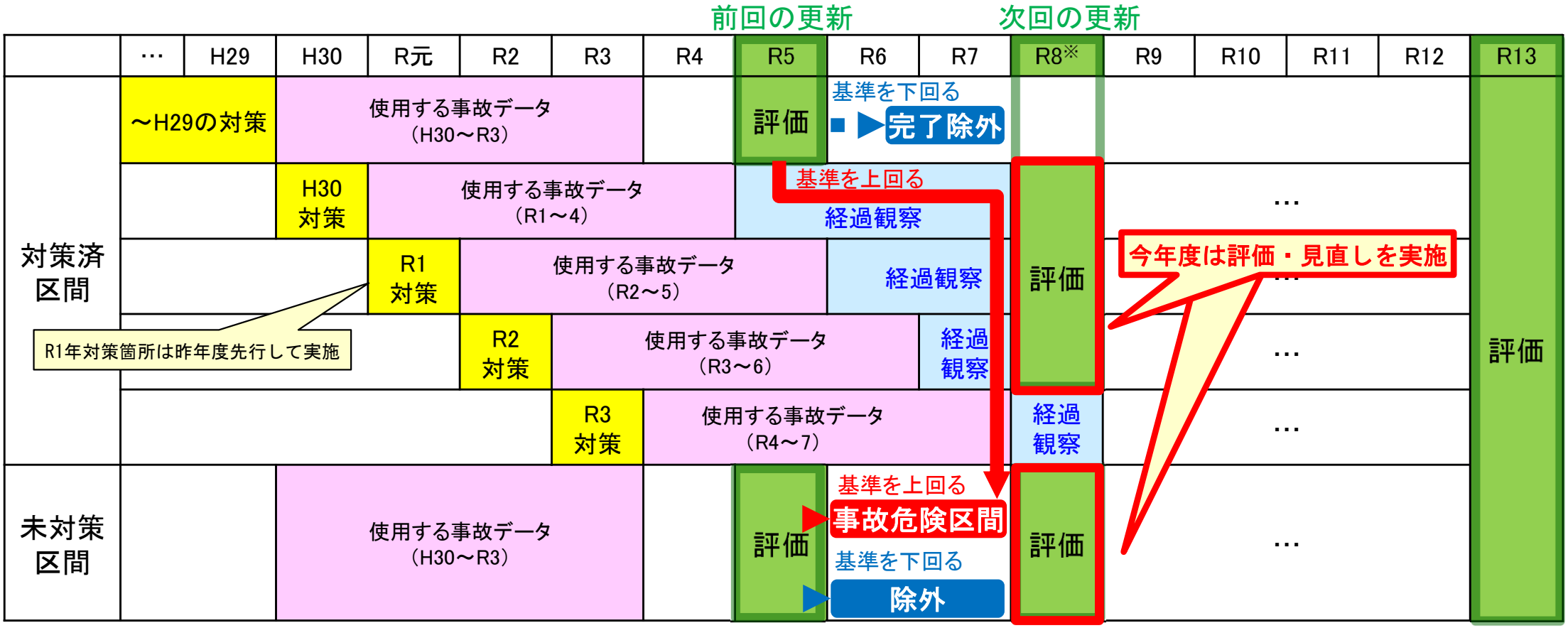


※H30～R6事故データ（交通事故統合データ）を使用

2-3. 事故ゼロプランの見直し方針

- 第３期事故ゼロプランはR5年度に位置づけており、**今年度更新予定**。その後は原則５年ごとに更新。
- 今年度は、次の**第4期事故ゼロプランに向け、事故危険区間の評価・見直しを実施予定**。

- 「事故ゼロプラン（事故危険区間）」の更新は、**「社会資本整備重点計画」に合わせて実施※**。
  ⇒「社会資本整備重点計画」にて指定された**「事故危険箇所」も事故ゼロプランに位置付け**。

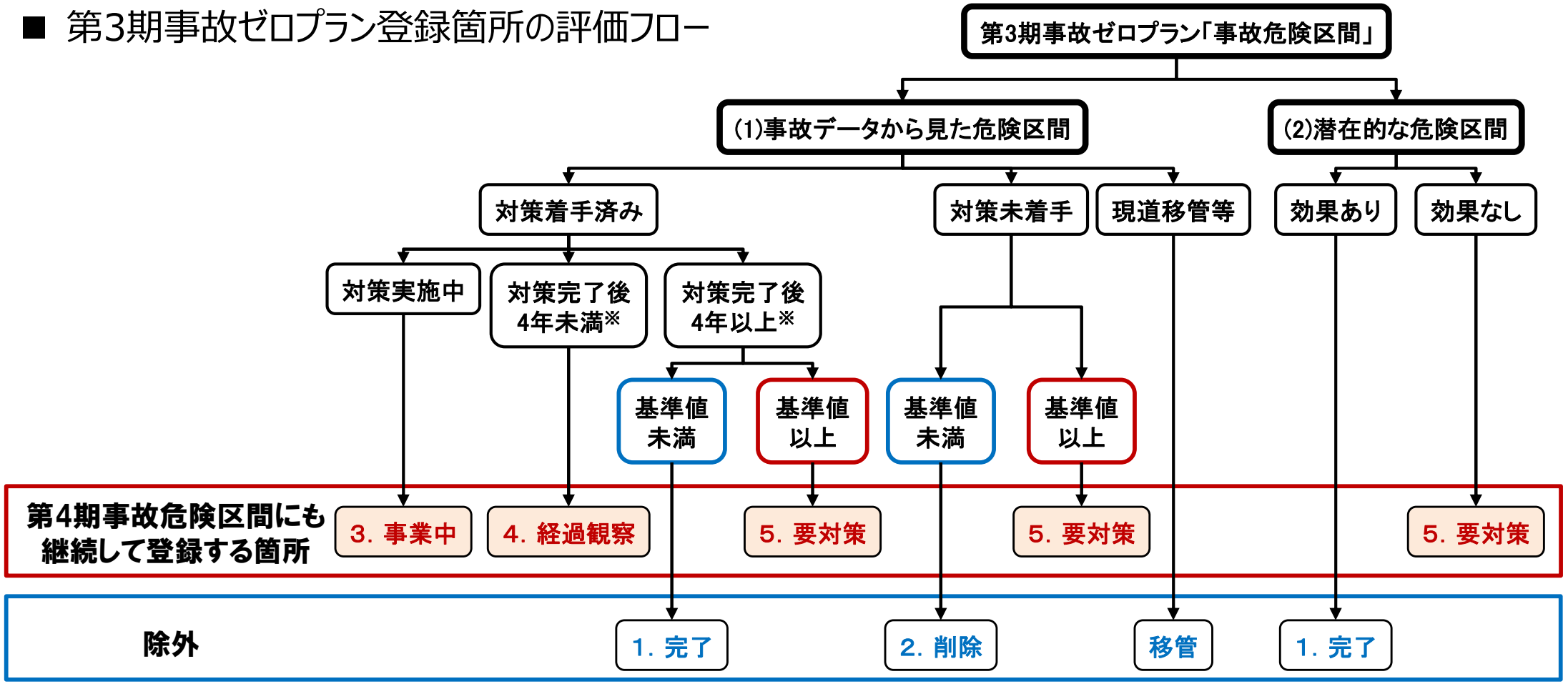


※ 令和4年3月に指定された「第5次事故危険箇所」を今回の更新に併せて事故ゼロプランに位置付けし、次期更新は「第6次社会資本整備重点計画」の閣議決定を踏まえR8年度とする。その後は、原則5年ごとに更新する。

2-3. 事故ゼロプランの見直し方針

- 第3期事故ゼロプランでの登録箇所は下記の評価を行い、**継続して登録する箇所を選定**する予定。
  （１）事故データから見た危険区間：対策実施中、対策完了後4年未満の箇所は、「事業中」「経過観察」箇所として第4期事故ゼロプランに継続して登録。対策完了後4年以上経過箇所、対策未着手箇所は、最新の事故データを用いて選定基準の判定を行い、基準値以上の箇所は継続して登録。
  （２）潜在的な危険区間：未対策・対策実施中箇所、対策後も効果が認められない箇所は登録。

■ 第3期事故ゼロプラン登録箇所の評価フロー



2-3. 事故ゼロプランの見直し方針

- 対策済みの36区間のうち、令和2年度以前に対策が完了した12区間について、対策前4年間と対策後4年間の事故件数を比較した結果、下記のようになった。
  対策前に事故があった区間：9区間中7区間で事故件数が減少し、死傷事故率が100を下回った
  対策前に事故が無かった区間：3区間中2区間で事故件数が0件のまま推移
- 対策済み箇所については、事故件数や死傷事故率が低下傾向にあることから、対策効果が一定程度認められる。
- 事故データから見た事故危険区間は、**事故件数の推移を整理**するとともに、**潜在的な危険区間については事故件数以外の指標**（ETC2.0データ分析やアンケート調査結果等）**を整理**し、継続登録及び除外の判定を進める。

■ 第3期事故ゼロプランの対策済箇所における事故件数の推移

通し番号	対象区間【交差点名】	①事故データから見た事故危険区間		②潜在的な危険区間	事故ゼロプラン選定年度	対策完了年	選定時評価期間	対策後評価期間	選定時の事故件数（件）	対策後の事故件数（件）	増減	対策後の死傷事故率（件/億台km）
		死傷事故率	重大事故率									
8	奥州市前沢区古城【折居交差点】			●	H22	R01	H17~H20	R02~R05	7	2	-5	84.72157
37	盛岡市上堂4丁目【上堂交差点】			●	H22	R02	H17~H20	R03~R06	8	0	-8	0
46	盛岡市繋字尾入野【市道、町道との交差点】			●	H22	H30	H17~H20	R01~R04	3	0	-3	0
47	岩手郡雫石町塩ヶ森			●	H22	R02	H17~H20	R03~R06	7	1	-6	11.82793
48	岩手郡雫石町橋場			●	H22	H30	H17~H20	R01~R04	6	0	-6	0
49	大船渡市大船渡町字下船渡		●		H28	R02	H23~H26	R03~R06	1	1	0	48.02156
50	大船渡市盛町字御山下		●		H22	R02	H17~H20	R03~R06	5	1	-4	49.28274
51	大船渡市盛町字木町		●		H28	R02	H23~H26	R03~R06	3	0	-3	0
56	下閉伊郡山田町大沢			●	H28	R01	H23~H26	R02~R05	1	0	-1	0
62	久慈市新井田第3地割～夏井町鳥谷第7地割(久慈道路)			●	H22	R01	H17~H20	R02~R05	1	0	-1	0
63	久慈市夏井町字鳥谷			●	H22	R02	H17~H20	R03~R06	8	0	-8	0
64	九戸郡洋野町有家第4地割～小子内第4地割			●	H22	R02	H17~H20	R03~R06	1	0	-1	0

対策済み箇所ではほとんどの箇所で事故件数が減少し、
対策後の死傷事故率も100件/億台キロ未満となっている

2-3. 事故ゼロプランの見直し方針

- 第3期事故ゼロプラン未登録区間については、**下記の基準で評価を行い、新規登録箇所を選定。**
  （1）事故データから見た危険区間：最新の事故データ(R3～R6)**を用いて前回と同様に評価。**
  （2）潜在的な危険区間：道路利用者団体からの指摘箇所は前回と同様に新規登録箇所に選定する。また、事故件数は多くないものの、次ページ以降に示すような最新の安全対策の動向を踏まえ、**自転車走行空間整備予定箇所**や**冬期の事故・交通障害発生状況**、重大事故に発展しやすい**自転車・歩行者横断中の事故発生箇所**など、要対策箇所を新規に登録。

■ 新規事故危険区間の選定基準

（１）事故データから見た危険区間
～事故発生状況からの抽出～

【選定基準】
① 死傷事故の発生率が高い区間
　死傷事故率　　：100件/億台km以上　かつ
　死傷事故件数　：8件/4年以上
② 重大事故（死亡・重傷事故）の発生率が高い区間
　死傷事故率　　：100件/億台km以上　かつ
　重大事故率　　：10件/億台km以上　かつ
　死亡事故率　　：1件/億台km以上

最新のR3～R6事故データ
（交通事故統合データ）を使用

（２）潜在的な危険区間
～事故発生可能性からの抽出～

③ 道路利用者団体からの交通事故の危険性の指摘区間
　○ 自治体・交安協・警察・その他団体
④ 最新の安全対策の動向を踏まえた要対策箇所
　○ 自転車関連事故の発生状況等を踏まえた自転車走行空間整備予定箇所
　○ 事故発生状況に加えて、冬期の交通障害状況等を踏まえた、交通機能確保の観点からも安全対策が必要な箇所
　○ 重大事故に発展しやすい自転車・歩行者横断中の事故発生箇所
　○ その他、交通安全上のリスクがあり早期（概ね5年以内）に対策が必要な箇所

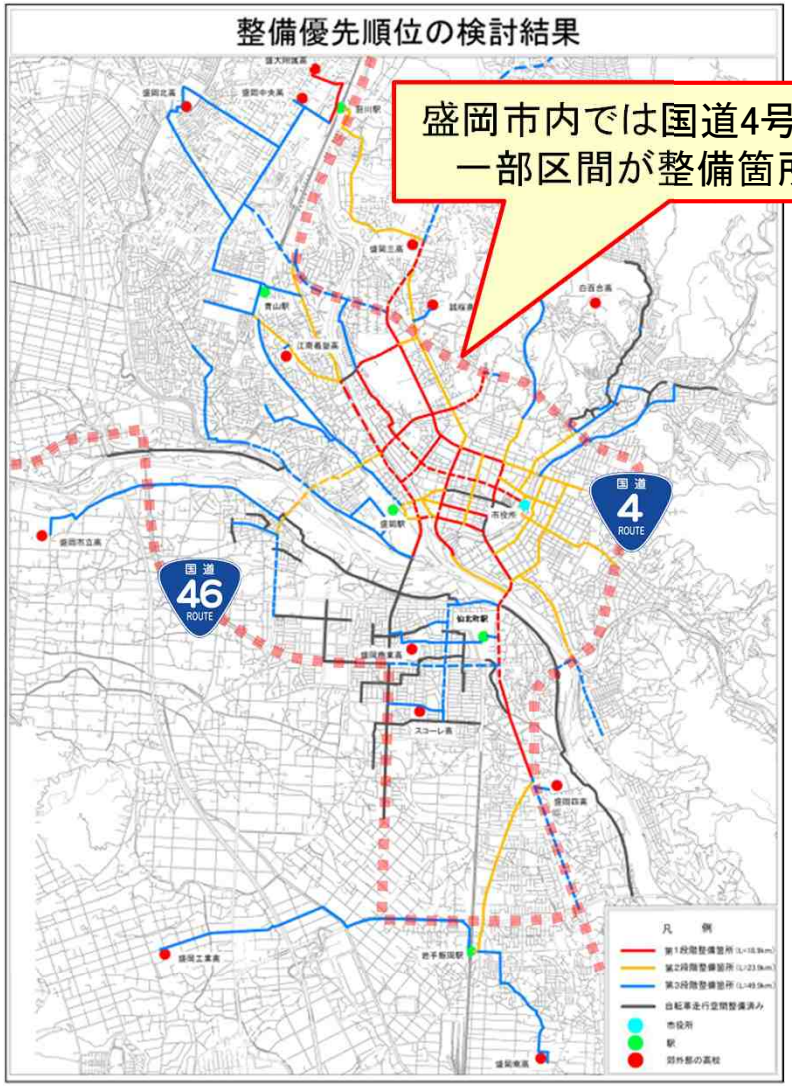
新規登録する事故危険区間

県内直轄国道における
交通安全上のリスク箇所を整理予定

2-3. 事故ゼロプランの見直し方針

- 各自治体の自転車活用推進計画等に基づいた**自転車走行空間整備予定箇所や自転車関連事故発生箇所を事故危険区間に位置付け、安全対策を推進**。

■ 自転車走行空間整備予定箇所の例（盛岡市）



※点線表示は，整備形態を引き続き検討する路線を示す。

出典：盛岡市自転車ネットワーク計画（平成28年3月）より抜粋

■ 中高校生を対象とした安全対策事例

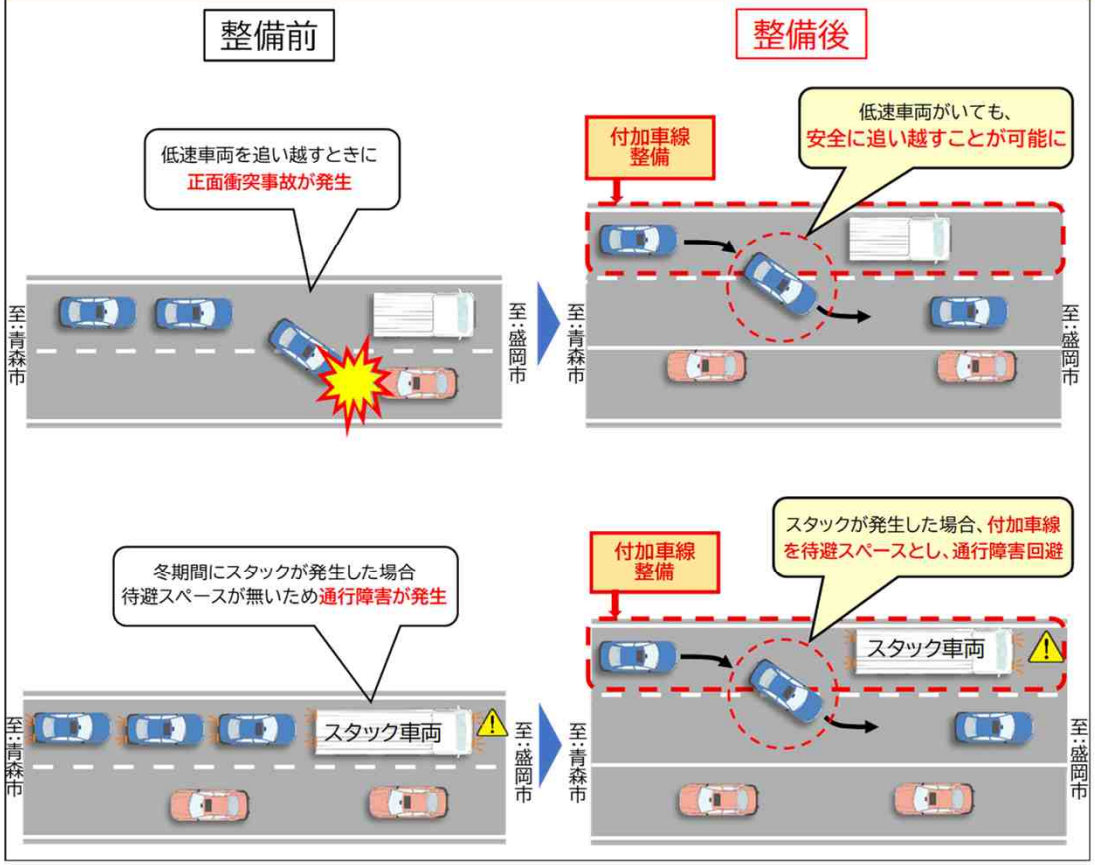


出典：中央交通安全対策会議専門委員会議資料（令和7年7月）より抜粋

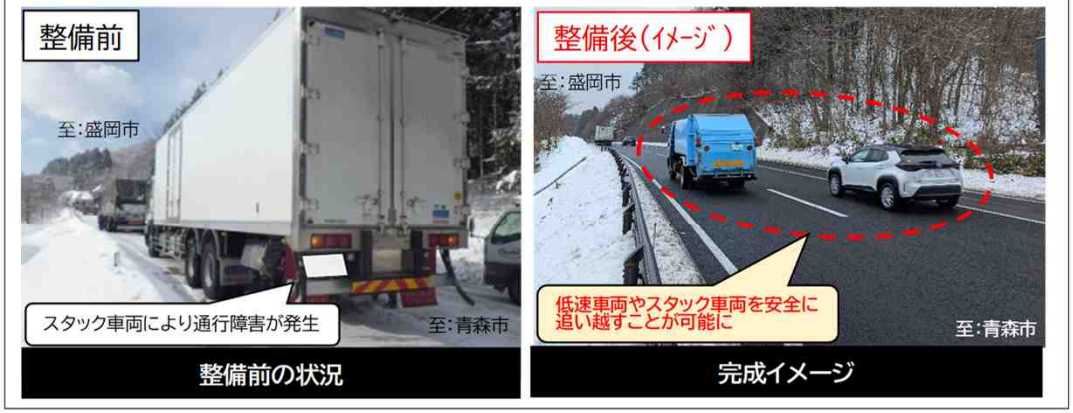
2-3. 事故ゼロプランの見直し方針

- 主に山間部での縦断勾配が大きい区間では、大型車の慢性的な速度低下が発生し、後続車の無理な追越しによる正面衝突事故が発生するリスクが高い。また、冬季には積雪時のスタックによる交通障害が発生するリスクがあり、付加車線整備等の対策が必要。
- 重大事故に発展しやすい正面衝突事故発生履歴に加え、**冬季の交通障害発生状況等を踏まえた交通機能確保の観点を含めた安全対策を推進**。

整備の概要



整備前後の写真



■ 事例:国道4号中山地区付加車線整備事業

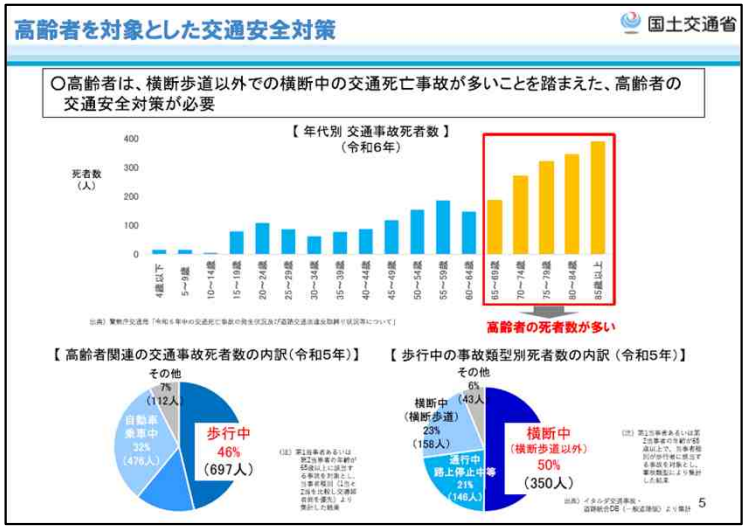
当該区間では、正面衝突事故の発生リスクだけでなく、冬期間の交通障害発生状況等も勘案して付加車線整備事業を実施。付加車線整備により、安全な追越が可能な区間を設けて追越時の正面衝突事故を防止するとともに、冬期間にはスタック発生時の待避スペースとして活用することで、スタック発生時の通行障害を防止する効果が期待される。

2-3. 事故ゼロプランの見直し方針

- 重大事故に発展しやすい**自転車・歩行者の横断中事故発生箇所**については、引き続き**路面標示や交差点改良により安全対策を推進**。
- 交差点以外でも、単路部での乱横断中の事故発生箇所等については、センサー付きスポットライト等の整備可能性を検討し、事故危険区間に追加で登録。



横断中事故の対策事例：国道46号本宮交差点





出典：中央交通安全対策会議専門委員会議資料（令和7年7月）より抜粋

2-4. 事故ゼロプランの今後のスケジュール

- 今回は、第3期事故ゼロプランの進捗状況及び事故ゼロプランの見直し方針について審議した。
- 次回の令和8年度第2回安推連では、**事故ゼロプランの見直し結果を報告予定**。

■スケジュール（案）

時　期	内　容
令和8年8月 （第1回安推連（書面））	• 第3期事故ゼロプランの進捗状況の報告 • 事故ゼロプランの見直し方針の審議
令和9年2月 （第2回安推連）	• 事故ゼロプランの見直し結果の報告
令和9年度以降	• 継続的に審議予定